

南アフリカ共和国における機械産業の生産・販売環境

～サブサハラ地域へのゲートウェイとして成長する南アフリカ
中間層の拡大による市場活性化とビジネス環境の整備に期待～

2014年3月

日本機械輸出組合

南アフリカ共和国における機械産業の生産・販売環境

要 旨

第1章 マクロ経済の動向

人口5,107万人、名目GDP3,843億ドルを誇る南アフリカは、アフリカ屈指の経済大国である。南アフリカは豊富な天然資源を有しており、重要産業の一つに鉱業が挙げられる。近年大きな成長を見せているのはサービス業だが、政府は失業率の改善と社会の安定のため、製造業を中心とした産業育成策を推進している。

南アフリカ社会は長年、一部の白人高所得層と黒人低所得層に二分されていたが、最近では黒人の中間所得者層が増加し、社会構造に変化が起きている。

第2章 投資環境関連制度

外国企業による投資は基本的に歓迎されており、特に南アフリカ国内の雇用を増やす産業については、各種の優遇策が活用可能である。また、インフラ網も他のアフリカ諸国に比べ整備されている。

一方で、頻発するストライキや、黒人優遇政策であるB-BBEE制度は、ビジネスの障害となっている。特に、B-BBEE制度は2013年の改正によって厳格化され、自社の取り組みが取引先へも強く影響を与えることとなったため、現地法人の出資割合の見直しといったより重い対策が必要となる企業が増える可能性がある。

第3章 各産業の市場動向及び生産概況

3.1. 自動車産業

政府は鉱業への依存度を低下させるため、自動車産業を重要産業と位置付け、関連企業の誘致・育成に取り組んできた。南アフリカには世界の7大メーカーが製造拠点を設置しており、2012年には約54万台（世界第26位）が生産された。自動車産業は他の産業と比較して集積が進んでいるものの、裾野産業が十分に育っていないことが課題となっている。

3.2. 電気・電子産業

南アフリカは消費者間の所得格差が大きく、家電製品やエレクトロニクス製品を購入できない層もまだ多く存在する。洗濯機（所有率31%）、パソコン（19%）などの所有率が低い一方で携帯電話（100%以上）やテレビ（79%）は多くの家庭に普及している。欧米系、

日系、韓国系、中国系のメーカーが参入しているが、現地生産は容易ではないことから他国から輸入しているケースが多い。

3.3. その他機械産業

南アフリカでは鉱業が盛んであることから建設機械への需要が高い。穀物やブドウなどを生産する大規模農園も存在することから、農業機器の市場も一定程度存在する。これらの機械はほぼ海外からの輸入でまかなわれており、特に建設機械では日本も重要な輸出入の一つとなっている。

3.4. インフラ関連産業

他のアフリカ諸国と比べれば、南アフリカの各種インフラは整備が進んでいるが、発電や輸送など、産業の発展に欠かせないインフラのキャパシティは十分ではない。政府は産業発展のためにこれらのインフラの整備を計画しており、日本企業にも参入のチャンスはある。ただし先進国に加え中国も積極的な姿勢を見せており、参入に際しては、競争優位性のある分野を選択することが必要である。

第4章 成功している内外企業の事例研究と戦略の方向性

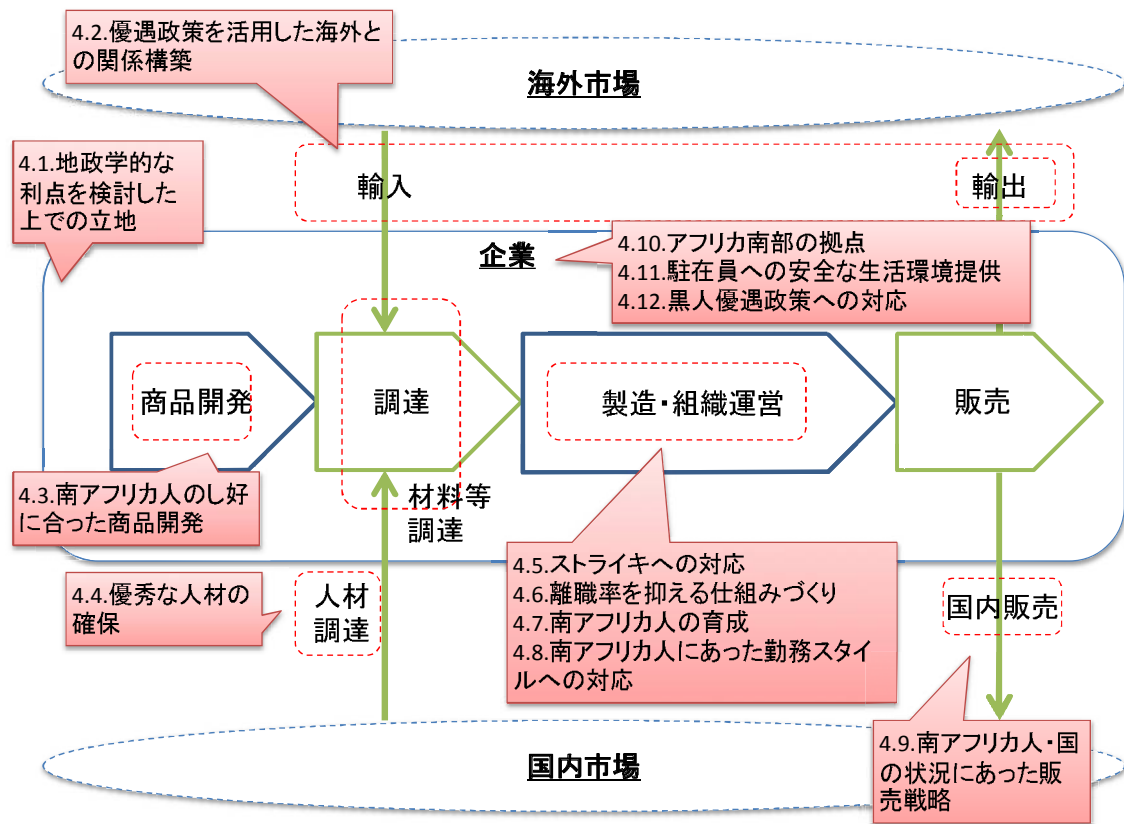
海外事業で成功する企業は、日本での事業をそのまま移植するのではなく、進出先国の置かれている外部環境（立地や周辺国との関係性など）やその国特有の内部環境（経済的成熟度や市場の特徴など）に合わせて事業を柔軟に構築している。

南アフリカの代表的な外部環境といえば、B-BBEE 政策・優遇措置への対応や南部アフリカの中心国としての地位といった点が挙げられるだろう。内部環境としては、独特の嗜好を持った消費者の存在や従業員育成の必要性といった点がある。南アフリカで成功している企業は、これらの特徴をとらえ、柔軟に自社事業を南アフリカに適応させている。

ある企業では、ストライキへの対応として、経営者自身が労働者と積極的に会話し、対立構造をなくす取り組みをしている。この取り組みによって、ストライキによる損失を可能な限り低減させているのである。

また、別の企業では、従業員の育成に力を入れ、HIV の教育や基礎的な理数系の教育を行っている。もちろん、技術向上のための教育や日本への派遣制度を取り入れている企業もある。

図表：事例研究とりまとめ



第5章 日系機械関連企業の南アフリカ市場における対応策

中間層の拡大により市場としての魅力が高まる南アフリカだが、同国における事業には、複雑な黒人優遇政策や裾野作業の未熟さ、人材確保の難しさなどの課題があり、事業展開は容易ではない。

ただし、南アフリカ市場の魅力が拡大することが期待されるほか、今後のアフリカ経済が当面は同国を中心に発展することが見込まれることから、南アフリカ市場の開拓は他のアフリカ諸国へのゲートウェイを開くという意味でも非常に重要である。

南アフリカへの進出に当たっては、他の新興国への進出時以上に、魅力と課題の双方を長期的に見据え、自社に適した事業展開の方向性、タイミングを検討することが必要といえる。

目 次

第1章	マクロ経済の動向.....	1
1.1.	南アフリカ概要	1
1.1.1.	概要.....	1
1.1.2.	南アフリカの歴史.....	3
1.1.3.	日本との関係.....	4
1.1.4.	南アフリカの政治・政策.....	8
1.1.5.	社会.....	12
1.2.	経済動向.....	21
1.2.1.	世界の中の南アフリカ	21
1.2.2.	アフリカにおける南アフリカ.....	22
1.2.3.	経済成長.....	24
1.2.4.	第三次産業の成長.....	25
1.2.5.	貿易動向.....	27
1.2.6.	対内投資動向.....	31
1.2.7.	労働市場.....	32
第2章	投資環境関連制度.....	35
2.1.	進出手続き	35
2.1.1.	外資規制・出資規制.....	35
2.1.2.	貿易に関する規制.....	35
2.1.3.	投資優遇措置.....	36
2.1.4.	進出形態.....	38
2.1.5.	会社設立手続き.....	40
2.2.	税制事情.....	40
2.2.1.	法人所得税.....	40
2.2.2.	付加価値税.....	41
2.2.3.	株主配当税.....	41
2.2.4.	個人所得税.....	41
2.2.5.	国際課税.....	41
2.3.	B-BBEE 政策.....	42
2.3.1.	概要.....	42
2.3.2.	2013年の改正内容.....	42
2.3.3.	B-BBEE 政策による日系企業への影響.....	44
2.4.	インフラ.....	44
2.4.1.	物流インフラ.....	44

2.4.2.	電力・通信	49
2.4.3.	工業団地	52
2.5.	金融事情	53
2.5.1.	金融機関	53
2.5.2.	資金調達方法	54
2.6.	自由貿易協定等の提携状況	55
2.6.1.	FTA・EPA の状況	55
2.7.	労務事情	57
2.7.1.	労働環境・労働法	57
2.7.2.	ストライキ	57
2.7.3.	賃金水準	57
第3章	各産業の市場動向及び生産概況	59
3.1.	自動車産業	60
3.1.1.	進出動向	60
3.1.2.	生産動向	61
3.1.3.	販売動向	64
3.1.4.	輸出動向	68
3.1.5.	自動車部品産業	69
3.2.	電気・電子産業	73
3.2.1.	進出動向	73
3.2.2.	市場規模	73
3.2.3.	市場シェア	75
3.3.	その他機械産業	79
3.3.1.	建設機械	79
3.3.2.	工作機械	83
3.3.3.	農業用機械	85
3.4.	インフラ関連産業	89
第4章	成功している内外企業の事例研究と戦略の方向性	91
4.1.	<立地>地政学的な利点を検討した上での立地	92
4.1.1.	戦略の方向性	92
4.1.2.	事例研究	92
4.2.	<輸出入>優遇政策を活用した海外との関係構築	93
4.2.1.	戦略の方向性	93
4.2.2.	事例研究	94
4.3.	<商品開発>南アフリカ人のし好に合った商品開発	94
4.3.1.	戦略の方向性	94

4.3.2.	事例研究.....	95
4.4.	<人材調達>優秀な人材の確保.....	96
4.4.1.	戦略の方向性.....	96
4.4.2.	事例研究.....	96
4.5.	<製造・組織運営>ストライキへの対応.....	97
4.5.1.	戦略の方向性.....	97
4.5.2.	事例研究.....	97
4.6.	<製造・組織運営>離職率を抑える仕組みづくり.....	98
4.6.1.	戦略の方向性.....	98
4.6.2.	事例研究.....	99
4.7.	<製造・組織運営>南アフリカ人の育成.....	99
4.7.1.	戦略の方向性.....	99
4.7.2.	事例研究.....	100
4.8.	<製造・組織運営>南アフリカ人にあった勤務スタイルへの対応.....	102
4.8.1.	戦略の方向性.....	102
4.8.2.	事例研究.....	102
4.9.	<国内販売>南アフリカ人・国の状況にあった販売戦略.....	103
4.9.1.	戦略の方向性.....	103
4.9.2.	事例研究.....	104
4.10.	<アフリカの他国との関係性>アフリカ南部の拠点.....	105
4.10.1.	戦略の方向性.....	105
4.10.2.	事例研究.....	108
4.11.	<駐在員の生活>駐在員への安全な生活環境提供.....	109
4.11.1.	戦略の方向性.....	109
4.11.2.	事例研究.....	109
4.12.	<政策への対応>黒人優遇政策への対応.....	110
4.12.1.	戦略の方向性.....	110
4.12.2.	事例研究.....	110
第5章	日系機械関連企業の南アフリカ市場における対応策.....	113
5.1.	南アフリカの優位性と留意点.....	113
5.1.1.	優位性.....	113
5.1.2.	留意点.....	115
5.2.	今後の事業展開に向けて.....	116
<参考情報>	117
B-BBEE 政策におけるレベル評価ポイント表.....	117	
Ownership Scorecard.....	117	

Management Control Scorecard.....	118
Skills Development Element.....	119
Enterprise and Supplier Development.....	120
Socio-Economic Development: Benefit Factor Matrix.....	122
投資等にあたっての連絡先（南アフリカ全体）	123
投資についての相談の際の連絡先（各州）	124